

環黄海経済・技術交流会議



第19回会議
(オンライン開催)

写真提供
経済産業省九州経済産業局

「環黄海地域経済圏」形成を目指し、黄海沿岸地域等が参加

「環黄海経済・技術交流会議」は、日中韓の「黄海」を取り巻く地域からなる経済圏域（環黄海地域経済圏）発展・深化を目指す交流プラットフォームである。1999年にフィリピン、2000年にシンガポールで開催されたASEAN+3サミットで日中韓の経済協力の必要性が認識され、環黄海圏の安定的な協力体制を構築することに合意し、2001年3月から正式に始まった。

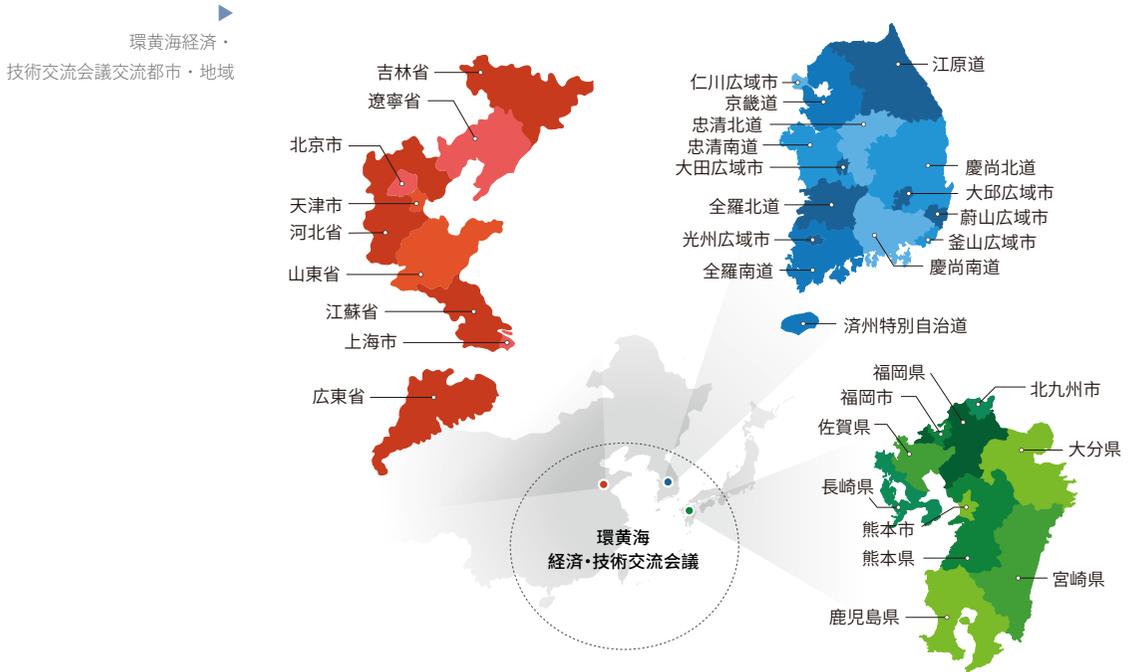
同会議は、日本経済産業省九州経済産業局、中国商務部アジア司、韓国産業通商資源部通商協力局の3か国政府機関をはじめ、関係する自治体や経済団体、企業、研究者等が一堂に会し、貿易・投資、技術・人材等の相互協力について話し合うとともに、具体的なビジネスのきっかけをつかむ場として発展している。

○ 参加地域

日本：福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、福岡市、北九州市、熊本市（九州地域7県3市）

中国：遼寧省、吉林省、河北省、山東省、江蘇省、北京市、広東省、天津市、上海市（6省3市）

韓国：京畿道、忠清北道、忠清南道、全羅北道、全羅南道、江原道、慶尚北道、慶尚南道、済州島、仁川広域市、大田広域市、光州広域市、釜山広域市、大邱広域市、蔚山広域市（9道6市）



これまでの開催状況



出典

九州経済国際化推進機構
ホームページ

回	日程	開催地
第1回	2001年3月	福岡県福岡市（日）
第2回	2002年10月	全羅北道全州市（韓）
第3回	2003年9月	山東省威海市（中）
第4回	2004年10月	宮崎県宮崎市（日）
第5回	2005年11月	大田広域市（韓）
第6回	2006年9月	山東省日照市（中）
第7回	2007年11月	熊本県熊本市（日）
第8回	2008年10月	仁川広域市（韓）
第9回	2009年7月	山東省煙台市（中）
第10回	2010年10月	福岡県北九州市（日）
第11回	2011年11月	大田広域市（韓）
第12回	2013年11月	江蘇省連雲港市（中）
第13回	2014年11月	長崎県佐世保市（日）
第14回	2015年11月	釜山広域市（韓） テーマ「医療・バイオ、新・再生エネルギー、産業団地、人材育成」
第15回	2016年7月	江蘇省塩城市（中） テーマ「環境に配慮したイノベーションと開放的な融合」
第16回	2017年11月	鹿児島県鹿児島市（日） テーマ「地域間交流の促進」「イノベーションを通じた新産業・新市場の創出」
第17回	2018年11月	全羅北道群山市（韓） テーマ「地域間交流の促進」「イノベーションを通じた新産業・新市場の創出」
第18回	2019年11月	山東省済寧市（中） テーマ「地域間交流の促進」「イノベーションを通じた新産業・新市場の創出」
第19回	2021年11月	熊本県熊本市（日）（オン・オフライン開催） テーマ「社会課題の解決に向けた新たな環黄海域経済交流モデルの構築と地域間交流の促進」
第20回	2022年 [予定]	釜山広域市（韓） 未定